

Job: 仕事、作業などの意味がある。work と task も同じ意味で使われるが、job と task は work の一部であり、task は難しい job という説明もある。子供が大きくなったら、どんな仕事をしたいかという場合 What sort of job do you want to do when you grow up?と job を使っている。一般に現場でいう仕事には job を使えばよいだろう。次の用例をみてみよう。

On-the-job training should be a formal process. It has four components: defining the job, demonstrating the job tasks, letting the employee perform the tasks, and evaluating job performance (実地教育は正式の手順をふむ必要がある。これには四つの要素がある、仕事の範囲を明らかにし、どのように作業をするかやってみせ、その作業を従業員にやらせてみる、そして出来栄を評価するのである)。この場合 tasks は全体の意味から考えれば仕事のやり方を示している。work, task ,job の使い方は種々あるので、使い分けを考えるより、用例でなれる方がよいだろう。

以下 work や task と一緒にでてくる用例も紹介した。

用例: Always have **pre-job** conferences before the start of the work (作業前会議を仕事を始める前に必ず行う)

注: 現場で行う安全確認のミーティングのようなものではなく、会議室で行うような会議を云う。

用例: Setting maintenance work priorities is the process used to rank **jobs** in order of importance (保全作業の優先順を設定することは、重要さの順で仕事のランク付けをするプロセスである)

用例: If emergency occurs, maintenance should not decide which **job** should stop so that the emergency work can be performed. (もし緊急事態が起きたなら、保全部門は、その緊急作業を行うため、どの仕事を止めればよいか決定できない)

用例: Programs that include only procedure-oriented training are marginally suitable for entry-level **jobs** where all tasks are routine and little judgment and decision making are called for (手順指向の教育のみのプログラムは、全ての仕事が日常的で、判断と意思決定がほとんど要求されないような初心者レベルの仕事に、僅かしか適していない)

用例: Too often, this kind of project is given a low priority, or is perceived by management as the type of **job** that can be squeezed in among other tasks (たびたびこの種のプロジェクトは、低い優先順位が与えられ、あるいは管理者によって他の仕事に押し込めることが出来るタイプの仕事として見なされる)

用例: Tom requested contractors to do a better **job** of daily work area clean-up. (トムは請負業者に、毎日の作業区域の掃除をもっと良くやるよう要求した)

用例: Before, it was typical for a maintenance crew to arrive onsite only to wait while someone went to get tools and materials not on the **job site** (以前は保全員が現場に到着しても、誰かが現場にない工具や材料を取りに行っている間、ただ待っているのが決まりであった。